

妻ヶ丘中学校だより

令和4年8月30日 校長 深江 祐史

二学期が始まりました

34日間の夏休みが終わりました。皆さんの夏休みはいかがだったでしょうか。充実していたと自信をもって言えない人もいるかもしれませんが、まずは、大きな事故等がなかったのがほっとしました。水の事故や10代の若者が当事者となる痛ましい事件が報道される中、妻ヶ丘中生は、しっかりと生活してくれたようで、心配な事故がなかったのは何よりでした。

さて、26日の始業式では、4名の生徒に「二学期の抱負」を述べてもらいました。

1年代表の 黒木 鈴沙 さんは、①学年委員長として、もっと視野を広げ、周りを見ることができるようになりたい。②特に「あいさつがしっかりできる」一学年になりたい。

2年代表の 山崎 詩音 さんは、まずは、「修学旅行が延期になってショックを受けた」との言葉がありました。しかし、①新たな日程が決まったら修学旅行実行委員として頑張りたい。②二学期始めの実力テストを頑張りたい。③自分たちが中心となる部活動を充実させたい。

3年代表の 井岡 俊亮 さんは、まず、「こんなに勉強した夏休みはない」と述べました。(この場で堂々と言い切れるとは、本当に頑張ったからですね。)①早く生活のリズムを整えたい。②学級委員長そして合唱コンクールの指揮者として文化祭を頑張りたい。③受験生として覚悟をもって勉強を頑張りたい。

生徒会代表の 川村 友朗 さんは、まず、「9月末には生徒会選挙が行われ、生徒会にとって大きな変化の学期になる」と述べました。その上で、①文化祭という大きな行事を成功させたい。②多くのボランティア活動を計画する予定なので、ぜひ参加してもらいたいと呼びかけました。

発表は、これまで同様、感染拡大防止のため、リモートとなりましたが、4名とも、しっかり前を向き、しまった表情で抱負を述べていました。さすが、各学年の代表です。

その後、私からは、全校生徒に対して以下の話をさせていただきました。

この夏休み、中体連の県大会や九州大会に出場した選手の皆さん、お疲れ様でした。職員玄関に入って右上の賞状を、先日、全て本年度のものに入れ替えました。来校される多くの方々に見ていただきたいと思っています。また、吹奏楽部の九州大会の演奏も先日CDで聞かせていただきました。すばらしかったですね。大変お疲れ様でした。

さて、夏休み期間中のことで、皆さんに一つ紹介したいことがあります。学校HPには紹介させてもらいましたが、8月19日に宮崎県庁で県内8つの小・中学校の参加による「宮崎県いじめ問題子どもサミット」が開催されました。その中に妻ヶ丘中も参加、生徒会の代表が本校の取組を紹介しました。残念ながら、当日はコロナ禍のためオンラインでの協議会となりましたが、今から生徒会長に、協議会の中で、どんなプレゼン発表をしたのか実際に皆さんに見てもらいたいと思います。

(生徒会長によるプレゼンを全校生徒に視聴してもらいました。)

コロナ禍の影響で、生徒会主催による公民館清掃は、残念ながら延期となりましたが、緑道を3年生有志で清掃することが出来ました。私も参加させてもらいましたが、暑い中、活動する3年生の笑顔を見ることができ、自分も気持ちの良い汗をかくことができました。

さて、サミットの中では、他の学校の取組も発表されました。参考になるものも多かったと思います。しかし、今回特筆すべきことは、本校の取組が「可能な限り、先生や大人の力を借りずに、生徒の、自分たちの手で行った取組だった」ということです。

そのことは、県庁で視聴されていた報道関係者にも伝わったようで、サミット終了後、本校を含めた2校が取材を受けることになりました。生徒が主体となった本校の積極的な取組が興味深かったようです。なお、サミットの様子は、9月10日(土)16時45分からの「みらい・みやぎき・まなび隊」の中で、放送される予定です。是非、皆さんにも見てもらいたいと思います。

今回の取組には、できるだけ自分たちの手でやるという「自立」する姿がありました。また、取組を進める中で、ボランティアセンター、まちづくり協議会、PTAがサポートしてくださいました。生徒会の皆さんは、助けてくれる方々へ「感謝」を感じたはずです。…そして、公民館清掃は出来ませんでした。緑道清掃で地域社会へ「貢献」をすることができました。

妻ヶ丘中は、二学期も「自立」「感謝」「貢献」できる生徒の育成を目指します。

いよいよ二学期が始まりました。どんなに、忙しくても他の人を気遣う思いやりをもって、そして、いつも夢や目標を持って、一日一日を大事に過ごしていきましょう。

修学旅行を延期することとしました。

2年生の保護者の皆様には、先日前お知らせさせていただきましたが、新型コロナウイルス感染症に係る現下の状況を鑑み、9月7日から予定していた修学旅行を延期とさせていただきます。そのことを26日、校長と2年学年主任が2年生全員に直接説明を行いました。

二学期、まずは修学旅行だと思っていた多くの2年生にとっては、残念で、ショックなことだとは思いますが、最後まで話をしっかり聞いてくれました。また、話の中で、なぜ、現地に行って学ぶ必要があるのか、以下の話をさせていただきました。

以前、2年生を担当しているときに、生徒から「先生、実際に行くのに、何で旅行先のことをこんなに調べるんですか？もう行った気分になりますよ」と冗談で言われたことがありました。さて、みなさんは、どう思いますか？

もし、何も知らずに長崎に行ったら・・・「すごいな」「ひどいな」「衝撃的だな」とかそんなことを思いながら見学すると思いますが、なぜ、今、こういう資料が、こういう建物が残っているかその背景を前もって調べて知っている人は、同じものを見ても、自分の中の学びが違います。知識があるかないかで経験の質が全く違うのです。知識と経験はセットでないのだめだと思えます。だから、すでに調べ学習等で十分知識を得ている皆さんには、ぜひ、現地で経験してほしいと思っています。

現在、新たな日程案を旅行業者を交えて協議中です。昨年度までの感染状況を確認しながら、できるだけ再度の延期や中止をしなくてすむ期間で、できるだけ同じ訪問先で、そしてこれも大切なことですが、修学旅行費の追加徴収をしなくてすむ計画を検討中です。今後、新たな日程が決まり次第、皆さんにお知らせする予定です。もうしばらくお待ち下さい。